

【 事業所名 】 スタジオG I F T 光の森

【対象サービス】 児童発達支援

ガイドラインに基づく事業所評価の集計結果表

チェック項目	評価点数（高→低）					改善目標・工夫している点など
	5点	4点	3点	2点	1点	
1 療育内容の改善に職員全体が参画できているか	3	2	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・その日の支援方法について計画 実践 振り返りを職員全体で行っている。 ・朝礼終礼はもちろんのこと随時子どもに応じた支援を共有したり改善策を皆で話し合っている ・朝礼での情報共有 ・リードから(今日の約束、スケジュールの確認、予想される動きに対する対処案等) ・ポイント(仮説から想定できる支援内容の共有、リードとの打ち合わせ等) ・毎日終礼でその日の療育内容の振り返りを行っている。それ以外の時間(昼休みなど)もこどもの話をしていることが多い。
2 保護者様の意向等を把握し子どもの状況や課題について保護者様と共通理解を持ちながら、支援内容の改善に努めているか	4	1	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントシートを利用して計画を立て、その実践結果や成長具合を次に活かせるようにしている。 ・保護者のニーズに応えるべく支援目標をたてながら行なっている。又親子療育や送迎時にも保護者からの聞き取りを行い新しい情報の共有も行なっている。 ・その日の記録にて家庭でできる支援を共有している。 ・相談を受けた際には職員間で支援会議を持ち、次の利用までに回答できるように心がけている。 ・親子療育や保護者送迎の際・提供記録を通して課題の共有やニーズの確認を行っている。
3 アセスメントから子どもと保護者様のニーズや課題を分析した上で個別支援計画を作成し、定期的にもモニタリングをしながら計画見直しが行われているか	4	1	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントシートを利用して計画を立て、その実践結果や成長具合を次に活かせるようにしている。 ・モニタリングや担当の報告があり踏まえた上で個別支援会議で話し合っており支援目標を立てている。 ・アセスメントシート(記録用)を活用しながら日々の療育にあたっている。 ・療育中にアセスメントシートを使って『できていること、難しいこと』を記録し、計画書に反映させている。
4 支援提供の前には職員間でミーティングをし、その日行われる支援内容・役割分担の確認や支援の振り返り等を行っているか	4	1	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・リードやポイント バランサーと予想される動きにどう対応するか毎回話し合っており対応している。 ・ポイント、リード、バランサーのそれぞれの役割確認や環境設定の確認や振り返りを行なっている。チームプレーを全員が意識している。 ・朝礼、終礼では担当職員から支援内容と評価を共有してもらい、全員で共通認識できるように心がけている。 また、リードから気づいたこと、ポイントから気づいたことについても話し合い、チームでの療育ができるように日々改善改良に励んでいる。 ・朝礼でその日のポイントの着目点や行動予測を共有している。
5 日々の支援に関して正しく記録をとり、支援の検証・改善につなげているか	4	1	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・記録シートに支援方法や次回試みたい事などを記録し お子様に向けた支援ができるよう職員全体で深めている ・過去の支援を記録で確認し、成功例失敗例を元に話し合いながら進めている。
6 学校や園、その他関連機関との情報共有(就学支援等を含む)や連絡調整を適宜行っているか※学校・園への送迎時の対応も含む	3	2	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・園での様子をお聞きし 療育で支援方法を探っている。上手くいった方法は知らせている。 ・園の先生方とコミュニケーションを取りながら、GIFTでの療育での様子を報告して園での様子を聞き取る様にしている。お互いの支援方法など情報共有。 ・園の状況にもよるが、時間が取れる時はその日の様子を担任、または引き継ぎ職員に伝え、園でも同じ様子が見られるかどうかなどの聞き取りもしている。可能な範囲でポイントが送迎に出られるようにinfoを組んでいる。 ・園からもその日のこどもの様子を詳しく話してくれて助かっているとお声を頂いている。
7 保護者様の対応力の向上を図る観点から、保護者様に対する助言等を行っているか	1	4	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・まずは保護者様の悩みを聞くことから始めている。その悩みについて職員間で話し合ったものをお伝えしている。 ・研修会で得た知識や他の先生方のアドバイス、療育での経験を元にニーズに応じた助言を行っている。答えが見つからない時は職員全体に共有し話し合ってから保護者に伝える様にしている。 ・相談があった際にはその日の終礼で情報共有を行い、次回の親子療育までに最善策を提供できるように配慮している。(答えられないことについては即回答は控えている) ・知識や情報を伝えるばかりでなく、保護者の気持ちに寄り添ったり、共感するように心がけ『何かあればギフト』と保護者の安心基地となるような信頼を得るよう配慮している。
8 保護者様からの苦情について、対応の体制を整備すると共に保護者様に周知し苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	1	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・意見を真摯に受け止め 改善に努めている。 ・苦情は無いが保護者の要望は真摯に受け止めて対応している。 ・真摯に対応している。 ・苦情を受けることがほとんどないが、保護者からの要求や相談には真摯に対応している。
9 ヒヤリハットや事故報告書を作成・共有し、事業所内での再発予防に心がけているか	3	2	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・怪我や事故がないように どのような場面で起こりやすいのかを会社全体で情報共有している。 ・他店の事後報告も共有、自店でも事故があった場合には対処法をスタッフ全員で共有し、再発のないよう周知徹底する。 ・その都度、報告連絡相談を行う。
10 職員の資質向上のための法人内での研修会が定期的に行われているか	5	0	0	0	0	
11 災害発生時に備えた訓練や身体拘束・虐待防止の研修等を定期的(年1回程度)に行っているか	5	0	0	0	0	